

松谷建設株式会社 環境行動計画

令和3年6月21日

取組方針

松谷建設株式会社は、当社の経営理念である『信頼・協調・努力』をモットーに、顧客ニーズにあった建設工事業をしています。

当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（節水）
- ② 工事部門、事務部門における廃棄物の削減及びリサイクルの推進
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

令和3年5月1日

松谷建設株式会社

代表取締役社長 小山 昌男

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次のとおりです。

目標—1	二酸化炭素の排出量（売上高当たり）を、令和2年度を基準として令和4年度までに5.80（kg-CO2/百万円）に削減する。
具体的な取組	<p>（事務所での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。 ② ノー残業デーを設ける。 ③ 空調機の設定温度を管理する。 ④ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。 ⑤ 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく。 ⑥ カーテン、ブラインドを利用して室内への日射と通風を調節する。 <p>（車両での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① アイドリングストップを徹底する。 ② 車両の点検を定期的に行う。 ③ 車で移動する際は、乗り合わせを徹底する。 ④ エコドライブに取り組む。（アイドリングストップ、ふんわりアクセル） ⑤ 給油時タイヤの空気圧をチェックし燃費の向上に努める。 ⑥ 現場に行く際の必要機材、持ち物の確認を徹底する。 ⑦ 不要な荷物は積まないようにする。

目標—2	廃棄物の適正な管理を行い、廃棄物の削減、リサイクルの推進に努める。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 廃棄物は決められたごみ箱に分別して出す。 ② シュレッダーの使用は機密書類に限定する。 ③ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。 ④ 新しい製品カタログを受け取る際には、旧版を引き取ってもらう。 ⑤ 再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。 ⑥ 詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する。 ⑦ 紙のリサイクルに努める。

目標一3	水の使用量を、令和2年度を基準として令和4年度までに10%削減して 471m ³ を423.9m ³ にする
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ①水道管からの漏水を定期的に点検する。 ②効率的な水の利用に取り組む ③節水に努める ④洗車する時は水を流しっぱなしにしない ⑤洗車用ホースに手元コックを取り付ける

目標一4	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ①工事道具の分別、識別、保管の徹底 ②敷地内の清掃及び緑化活動の推進

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するために、社長（環境保全活動の責任者）を中心に全社員が「環境保全活動に向けた具体的な取り組み」を実行し、その進捗状況を1年に1回チェックします。